

討論・発表を含む完全オンデマンド授業 Complete On-Demand Class Including Discussion and Presentation

福井大工¹ °葛生 伸¹

Univ. of Fukui¹, °Nobu Kuzuu¹

E-mail: kuzuu@u-fukui.ac.jp

【はじめに】工学部1年生後期必修科目である「科学技術と倫理」は、コロナ対応で2020年度からグループ討論を含めてオンデマンドで実施してきた。ただし、討論結果の発表はオンラインで実施してきた。2022年の秋からほぼ全面的に対面授業が解禁になった。多いクラスでは180人程度と大人数であることもあり、従来通りオンデマンドで実施して発表のみ対面で行うことを考えた。しかし、コロナ対応で2つの講義室に分けられ、一つの講義室から一方で中継するシステムになっていた。さらに、一部の編入生がカリキュラムの関係で同じ時間に割り当てられていた。そこで、討論の発表も含めて完全オンデマンドで授業を実施することにした。

【従来の授業概要】「科学技術と倫理」の前半は主に技術者倫理の内容を、後半は環境問題や安全衛生、品質管理、世界の宗教など技術者として必要な事項学ぶ内容になっている。授業には Google Classroom を使用している。毎回クイズと動画視聴をくり返したのち、300字程度の授業内容の要約を求めている。その他、グループ討論と発表を2回ずつ割り当てている。これまでも、グループ討論は5名程度の班ごとに共通編集のファイルや Google Meet を割り当て、メンバーの都合のよい時間に討論できるようにしてきた。討論結果はオンライン授業でランダムに指定した5〜6班が発表する。それに対して講評を行う。発表と講評の動画は終了後 Classroom に提示する。

【オンデマンドでの発表】今回実施したオンデマンドでの発表では、動画を班ごとに提出することにした。動画作製の推奨方法として Windows のゲーム記録機能である Xbox Game Bar を使用する方法と Zoom を使用する方法などの説明動画を作製して、ホームページに掲載した¹⁾。動画作製に手間取ることも考えられたので、討論と発表の間に通常講義を1回行うこととした。動画は、Google Classroom の「課題」から提出するようにした。提出動画のリンクは、確認後 Classroom で開示した。担当している2クラスでそれ1〜2件のトラブルがあったが、締め切り時間前後には全ての班の動画が提出された。提出した動画全てに対して講評を書き、その日のうちに開示した。6班を各自乱数で選び、動画を視聴して概要ノートを提出するようにした。

【おわりに】動画での提出課題を大学院の授業で課したことはあるが、学部の授業でははじめてであった。動画や共有設定の不備で数件のトラブルはあったが、全ての班が締め切り前後までの提出できた。多くの授業が対面授業に戻りつつあるが、オンデマンドの教材の良い点は捨てがたい。学生が社会に出てからもオンデマンドの受講だけではなく討論や発表の経験は役立つものと考えている。さらに、学びたい時にいつでも、どこでも学べるシステムを作っていくことが求められるものと考えている。そのため、今後も積極的に遠隔授業の手法を開発していきたい。

1) プレゼン動画の作製方法 <https://sites.google.com/futuredesign.page/presen-movie/ホーム>